

電流の仕組み紹介 葵区で小学生教室

静岡理工科大生

小学生を対象にした理科教室が二十二日、静岡市葵区の静岡北中学・高校で開かれた。静岡理工科大(袋井市)の学生グループ「お理工塾応援隊」が主催し、静岡市内の小学四、六年生二十人が参加した。

学生が電流の仕組みやオームの法則について解説した後、小学生と一緒に空き瓶を使った発光ダイオード(LED)のランプを作った。最後に小学生が学んだことを紙にまとめて発表した。

オームの法則について

て発表した川原小六年村田大翔君(こ)は「学校でまだ習ってないことが分かって得した気持ち。電気が分かって面白かった」と話した。

応援隊には、教師などを目指す静岡理工科大の学生約二十人が所属し、子どもたちに実験の楽しさを伝える理科教室を開いている。副隊長の山本宜秀さん(こ)は「教えることで学生側の理解も深まる



LEDについて発表する小学生たち―静岡市葵区で

ので、お互いに意義のある教室になった」と話した。(垣見窓佳)